

# 自然素材から生まれた究極の植物性プラセンタ

穂のしずく

プラセンタと聞くと、動物性プラセンタをイメージする人も多いのではないだろうか。そんな中、ナチュラル派を中心にライ麦の胎座から抽出される植物性プラセンタが注目を浴びている。

Photo Takehiro Hiramatsu (digni) P097 Text Nile's NILE



1袋の内容量は410mg×10粒。  
1日1〜2粒を目安に継続的に飲むことで効果が実感できる。

ストレス、不眠、PMS（月経前症候群）、生理不順、更年期障害、肌のたるみやしみ等々……。女性ホルモンに関係する現代女性特有の悩みは多い。そんな悩みに応えてくれるサプリメントがあるという。

これまで、豚などの胎盤から抽出される動物性プラセンタが女性ホルモンに直接働きかけるといった話は聞いたことがあるが、副作用の心配や動物の胎盤を摂取することによって抵抗があり、日常的に使用するとするとその足を踏んでしまう人も多いためではないだろうか。

そんな中、今注目を浴びているのが植物性プラセンタ「穂のしずく」。動物性プラセンタの数倍のアミノ酸を含むライ麦胎座（プラセンタ）を主な成分とするホルモンフリーの植物性プラセンタである。過酷な気候や環境の中でも極めて高い成長力で知られているライ麦は一本あたり長さ約500cm、合計1300万本の根に支えられており、動物の胎盤と同じように種を育てる役割をする胎座を持っている。「穂のしずく」の原料には、荒れ果てた寒冷なドイツの地でもたくましく成長を遂げる安全性の高いドイツ産のライ麦を使用。また、ライ麦には必須アミノ酸以外にもビタミン、ミネラル、カルシウムが豊富に含まれているという。

このライ麦胎座から抽出された植物性プラセンタは、人、牛、豚などのプラセンタを50年以上研究したドイツの大学の名誉教授が20年の歳月をかけて開発した、安心できる次世代プラセンタといえる。



- 1.ドイツ北部で栽培された有機栽培のライ麦を刈り取り使用します。「植物プラセンタエキス」1kgにつきトラック約2〜3台分のライ麦を使うこともある。
- 2.荒れ果てたドイツの寒冷な地でもたくましく成長を遂げる、安全性の高いドイツ産のライ麦が原料。
- 3.ドイツGMP（医薬品の製造および品質管理に関する基準）をクリアした指定工場生産・抽出される。
- 4.ライ麦以外に、奥出雲えごま油、スイス産レッドクローバー、インド産ザクロエキスが含まれている。

さらに、「穂のしずく」はライ麦以外にも、女性ホルモンをやさしく整えるサポート成分が配合されている。特にこだわったのは、えごま油。奥出雲が産地の農業不使用でつくられたえごま油は、血管を若返らせるαリノレン酸が豊富に含まれている。うつ病の回復や体のさび取り、認知症にも効果があるといわれている。その他、抗酸化力に優れるポリフェノールやビタミンB1、ビタミンCが豊富に含まれ、肌に透明感をもたらす、さくろ。女性ホルモン（エストロゲン）に似た働きをするイソフラボンが大豆の8倍も含まれているレッドクローバー。これらのエキスを配合し、大豆皮膜とカカオでコーティングした100%植物性の製品だ。

女性にとって、心身の健康と密接に関係している女性ホルモン。女性ホルモンの分泌は20代にピークを迎え、30代半ばからは徐々に減少していくうえ、ストレスや不規則な生活、食生活の乱れもホルモンバランスを崩してしまふ。日々の生活に「穂のしずく」を1日1〜2粒取り入れることで、「ストレスが解消されイライラしなくなった」、「ゆっくりと眠れ、毎朝体調のよさを感じられるようになった」、「肌に透明感が出て日焼けしなくなった」という声や、冷え性、肩こり、自律神経失調症、PMS・生理不順、更年期障害などが改善されている人も多いという。

安心できる植物性プラセンタでホルモンバランスを整えて、心身ともに健康な生活を手に入れてほしい。